

令和5年度2回愛媛県がん診療連携協議会がん相談支援専門部会

Web会議 議事録

令和6年1月18日（木） 13:30～15:00

出席者 (39名)	愛媛県庁健康増進課	田坂	愛媛県立中央病院	濱田、箱岡、井上、武田、 外山、松田
	愛媛大学医学部 附属病院	塩見、古川	松山赤十字病院	中田、佐伯、高須賀、 池田、門田
	済生会今治病院	松岡、池田、斉藤	市立宇和島病院	黒田、川中、大久保、 沼田
	住友別子病院	和田、高橋		
	松山市民病院	三谷	四国中央病院	高木
	HITO病院	守屋	十全総合病院	松本
	済生会西条病院	大谷	済生会松山病院	藤原、平岡
	市立八幡浜総合病院	高橋	四国がんセンター	羽藤、長谷部、岸田、福島、 大西、閩木
愛媛労災病院	田中			
事務局	四国がんセンター	安宅（事務担当）		

I. 報告・協議事項

I-1)

都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会情報提供・相談支援部会報告（資料3）

（第21回 11/24 オンライン配信）

福島 美幸（四国がんセンター）

- ・ 整備指針発出後1年経過しての変化と課題アンケート結果の共有・ディスカッションの紹介
- ・ ロジックモデルの目標と考え方 P40 ロジックモデルを活用したPDCA P48
- ・ PDCAチェックリスト改訂 P51～P64
 - ① 新PDCAチェックリスト修正案が提示されたこと
 - ② 来年度以降2,3年に1回はこの内容で各拠点病院へ直接調査依頼が入る方向であること
 - ③ これらを基本として各県で実施してきたこれまでの項目も含めてリストを検討してよいこと
- ・ 日本癌学会認定医療ネットワークナビゲーター制度 P66～P80
- ・ 相談員研修、国がん認定事業 P82
 - ◇ 認定がん相談支援センター説明会 2024/1/29（月）16時～17時オンライン国がん開催
- ・ 施設別がん登録件数検索システム P90

I-2)

「若年がん患者在宅療養支援事業」「ウィッグ及び胸部補正具購入費助成事業」、「小児・AYA世代のがん患者の妊孕性温存療法研究促進事業」等の県内動向について

田坂 慎太郎（愛媛県健康増進課）

- ・ 若年がん患者在宅療養支援事業について
R2年度より実施しており、R4年度からは県内全20市町で実施。今年度はまだ各市町より県への利用申請はないが、例年同様、年度末にかけて申請があることが予想される。この事業の課題としては、周知が十分でないことが考えられ、対象者への積極的な広報をお願いしたい。来年度の予算に関しては、今年度と同額を見込んでいる。
- ・ ウィッグ及び胸部補正具購入費助成事業について
市町で実施している事業。現在、今治市、宇和島市、西条市において実施。予算額としては、3市合わせて600万程度、12月末時点で半分程度を執行。来年度以降4市町が実施を検討しており、徐々に広がっている。
- ・ 小児・AYA世代のがん患者の妊孕性温存療法研究促進事業
昨年度より実施している事業。予算額230万程度に対して、現在までに4件の利用があり116万円を執行。年度末にかけて利用が増える見込み。来年度については今年度の約1.5倍を予算要求している。

[質疑応答]

- Q. ウィッグ及び胸部補正具購入費助成事業の実施を検討している4市町について教えてほしい
A. 松山市、八幡浜市、上島町、鬼北町の4市町。あくまでも現時点で検討している段階である。

I-3)

愛媛県がん対策推進計画の改定について

田坂 慎太郎（愛媛県健康増進課）

今年度末で第3期計画が満了するため、現在第4期計画の策定を進めている。概要はP8.9参照。

大きな変更点：

- ・ 新たにロジックモデルを取り入れてPDCAサイクルの実行性の確保に繋げていく
- ・ 本県独自の取り組みを掲げた。
「がん患者の就労継続に向けた支援の充実」「高校生が療養中も切れ目なく教育を受けられる環境の整備」は相談支援に関わる場所である。来年度以降、特に力を入れて取り組んでいきたい。

I-4)

都道府県がん診療連携協議会四国ブロック会より

松岡 誠子（済生会今治病院）

2022年10月23日にWeb開催。主に以下の3点について情報交換を行った。

- ① がん専門相談員の研修に参加者をリクルートする方法やがん専門相談員の会議や研修を義務と

する仕組み作りについて

新要件では相談支援に携わる者が相談員研修等により定期的な知識の更新に努めることと明記されたが、研修会が業務として認められていないことやオンライン環境がないなどの理由で参加しにくいとの声があり、研修に参加する相談員の数を増やすことに苦慮している現状はどの県も共通していた。各施設の事情は様々であり、現時点では個別に参加を促す声かけ、部会長からの推薦上や実働メンバー同士での声かけ合いなど様々な手立てを講じるしかないのが現状であった。

② がん患者の満足度調査、がん相談支援センターの利用者アンケートについて

高知県では県主導の満足度調査を実施し、結果は外部公表、また各病院へフィードバックもしているよう。その他は各施設で取り組みをしているが、ネガティブな評価や意見は得にくいなどの課題や、QRコードや紙媒体などアンケートの実施方法についての検討の必要性はどの県も抱えており、今後も引き続き四国ブロックでの情報交換をしていく予定。

③ 両立支援について

各県がハローワークや産保センターと連携をとり、相談の場や研修会の機会を確保するなどコロナの影響も受けつつ、引き続き取り組みを継続していた。地域相談支援フォーラム(R4. 10. 愛媛県主催)の影響は大きく、他県のやり方を共有することで新しい動きが見えるなどの効果があったことが共有された。単県での取り組みだけでなく、四国ブロックとしての学びの場や取り組みなどについても考えていけたらなどの意見もあった。

I-5)

各ワーキングからの報告

1) 相談員研修 WG

福島 美幸(四国がんセンター)

- ・第1回QA研修「相談対応の質保証を学ぶ」について報告(アンケート結果含む) P10~P21
令和5年9月2日(13:00~17:00)に開催。参加者は15名(県内12名/県外3名)であった。久しぶりの集合研修で楽しく参加できたという意見が多かった。今後はハイブリット等も含めた研修方法も検討。
- ・第2回研修会開催について(予定)
テーマは「がん相談員が行う診断期の意思決定支援」(※「認定がん専門相談員制度」におけるⅢ群研修の単位認定)で実施。1月12日には広報開始しており、積極的な参加をお願いしたい。
日時【令和6年3月16日(土)13時~17時00分】場所【四国がんセンター 現地開催】
- ・「情報から始まるがん相談支援」研修~地域展開版~オンライン開催(香川県・徳島県主催)について報告
令和5年11月11日(土)にオンライン(Zoom)開催され、ファシリテーター・サブファシリテーターとして協力した。愛媛県からの参加もあった。アンケート結果報告 P22~P25

2) 広報活動 WG

大西 明子(四国がんセンター)

今年度から、フィードバック体制の整備と協議会での情報共有を中心に活動している。今年度は7月に開催された第1回専門部会で各施設のアンケート結果を情報共有した。

- ・四国がんセンター実施のアンケート結果報告

来年度からは専門部会で協議した内容を含めたアンケートを実施予定。

- ・フィードバック体制意見交換会（第2回）について P27.28

2023年11月30日（15：00～17：00）オンライン開催。共通の質問項目と自由記載欄を含めたアンケートを、各拠点病院で実施し、毎年度第1回専門部会で情報共有することとなった。専門部会前に各病院の担当で意見交換し、推進病院も意見交換会には参加することとなった。共通の質問項目を含めたアンケートは3年間実施し、適宜検討していく予定。

- ・がんサポートブックえひめについて

現在、第4版。これまで不定期に発行してきたが、毎年末頃に発注希望がないか四国がんセンターが確認し、とりまとめて発注することとした。積極的な活用をお願いしたい。

- ・がんサポートサイト 拡大ワーキングに向けて（寺本先生：四国がんセンター）

今年度は、リンパ浮腫の対応ができる病院が県内に少ないということで情報提供だけでもできるよう更新した。その他「病院を探す」のデータ更新を11月9日、「暮らしを支える」のデータ更新を9月5日、遺伝性腫瘍のページ更新、相談支援部会に関係が深いところでは「がんサポートブックえひめ」のダウンロードサイトへのリンク追加などを行った。整備指針において都道府県におけるがん情報の提供の重要性が謳われているが、がん情報サイトを作ることは都道府県によってはなかなか困難である。がんサポートサイトえひめの情報やフォーマット、やり方を提供することの計画が厚生労働省の班研究で進んでいる。

春頃に拡大ワーキングを計画している。

3) チェックリスト WG

和田 美恵子（住友別子病院）

- ・今年度の活動実施状況：報告書より

昨年の項目と同様、拠点病院と推進病院を対象として28項目の評価を実施した。今年度は「院内スタッフの周知体制・診断早期に患者に相談支援センターに立ち寄ってもらう仕組みづくり」を重点項目とし、さらに新型コロナウイルス感染症5類移行に伴い、がんサロンの活動や、対面開催を再開したがん相談員研修会について評価を行った。評価予定だった項目は各病院が積極的に取り組むことができた。また、サロン、フィードバック体制、出張相談など、部会として取り組んだ活動も各病院の成果に繋がったと評価された。今後専門部会としては、診断初期からのがん相談支援センターの案内およびスタッフへの周知、部会での共有、愛媛県がん相談員研修会への参加継続、QA研修の継続、がんサロンや出張相談などの各病院からの情報発信、協力といったことについて取り組んでいきたい。

4) サロン担当者 WG

関木 裕美（四国がんセンター）

- ・愛媛県がんサロン担当者の交流会開催

報告書 P29

令和5年10月31日（14：00～16：00）オンライン開催。拠点・推進病院のサロン担当者19名、愛媛がんサポートおれんじの会より2名が参加。内容としては講演、現状報告・意見交換を行った。5年ぶりにサロン担当者交流会を開催して、担当者が悩みながらもより良いサロン運営をしていくため、お互い頑張っていることを共有する場となった。次年度についても、交流会の開催など活動を検討したい。

II. その他

1. 2023年度愛媛県災害時連絡シミュレーション実施状況について（7/26）
7/26 メール配信、3日間で14施設から返信、6日目に1施設から返信があった。今後も年に1回は実施予定。自施設内で有事の際に確認できる体制の構築もお願いしたい。
2. 来年度 実務者代表交代について
済生会今治病院の松岡さんから、住友別子病院の和田さんへ交代
3. セミナー案内
 - ◆（医療者向け）愛媛県地域医療関係者向けアピアランスケアセミナー
みんなではじめよう！がん患者の外見変化への支援（現地開催 ONLY）（2024/1/20）
 - ◆（患者向け）希少がん 第1回中皮腫セミナーin 四国-治療と社会保障、患者会について-
ハイブリッド開催（2024/1/27）
 - ◆（患者向け）胃がん啓発 2024 あなたにとって最適な治療につながるために～19年ぶりの患者向け胃がん治療ガイドライン発行企画～ハイブリッド開催（2024/2/17）
 - ◆がん治療に伴う妊孕性への影響と妊孕性温存への対応 オンライン開催（2024/3/8）
4. その他（各施設から周知事項）
 - ・済生会今治病院より：令和6年2月29日ピアサポーター養成研修会の案内
5. 今後のスケジュールについて
全体報告会 オンライン開催 2/3（土）10時30分～12時00分 ウェブ参加登録案内中

議事録担当：市立宇和島病院（次回は HITO 病院）